



希望 光 明日

学校だより 令和6年12月4日

校長 大澤由美子

[学校教育目標]

心豊かな生徒

意欲的に学ぶ生徒

たくましく生きる生徒

「光」

年末になると、今年を表す漢字が話題になります。本校でも「今年の漢字を当てよう」などの掲示物が貼られています。2学期も残りわずかとなったところで、私が「2学期の川越西中学校生徒」を漢字で表すならば「光」です。生徒の光り輝く姿をたくさん見る事ができた2学期でした。暑さとの戦いだった体育祭。わずかな準備期間でありながら集中して取り組み、やる気と汗と笑顔が光る素晴らしいものを創り上げてくれました。合唱祭では、曲に乗せた真剣な思いと美しいハーモニーがキラキラ光っていました。部活動、委員会や係の活動、清掃や給食などの日常の学校生活、どれをとっても前向きに一生懸命取り組む姿に、中から放つ光を感じています。

本校の良いところを生徒に尋ねると、「あこがれと誇り」「黙々清掃」「黙動」「挨拶」「礼儀」「感謝の気持ち」「思いやり」「仲が良い」「一生懸命」等の答えが返ってきます。私も同じように感じています。地域の方から嬉しい電話をいただいたこともありました。その方は、学校近くの横断歩道を渡り終えた生徒が止まってくれた左右の車に一礼した姿に感激し、日頃から感謝の気持ちが育てられていると感じて電話をくださったとのことでした。これは学校だけでなくご家庭や地域で育まれてきた力でもあると思うと同時に、温かい見守りも感じる出来事でした。また、挨拶についても地域の方から「挨拶が以前より良くなったと感じています」「気持ちの良い挨拶をする生徒さん達ですね」とありがたいお言葉をいただくこともあります。私自身、顔を合わせた時はもちろん、後ろから挨拶の声を掛けてくれる生徒がいてとても嬉しく思っています。そして、教育委員会など来校されたお客様が校内を回られたときに必ず仰るのは「学校がきれいですね。隅々まで清掃が行き届いていますね。」ということです。黙々清掃で床や壁がきれいに光っている以上に、生徒たちの取り組む姿が光っている毎日です。これらは身に付いている行動であり、これができる生徒たちの存在そのものが光で、この子たちが担っていく未来は明るいと思えます。

学校だよりのタイトルは「希望 光 明日」。これは、校歌の歌詞からとったものです。「光」はこの中の2番目の言葉でもあります。1年間は3つの学期の積み重ね、学期は月の積み重ね、月は週の積み重ね、週は日の積み重ね、一日一日の積み重ねが今の姿です。個人も集団もよく努力を重ねて頑張ってきたことがわかります。さらに、今を土台にして今後は積み上げられていきます。3学期の良いスタートにつながるように、2学期の残り3週間も充実させてほしいと思っています。